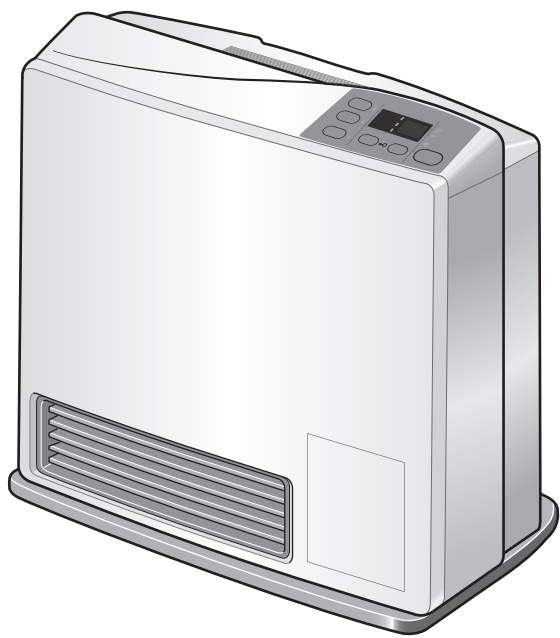


取扱説明書

保証書付

ガスファンヒーター(家庭用)



このたびは、ガスファンヒーターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

よく読んで安全に正しくお使いください

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- 小さなお子さまにはさわらせないでください。
- この取扱説明書の一部が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- この機器は家庭用ですので業務用のような使い方をされずと著しく機器寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、または、もよりの東邦ガスにお問い合わせください。



RC-Y2401-096(00)
200401

保証書

品名 ガスファンヒーター RC-24FSJ RC-41FSH^(W)_(L)

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この保証書は、東邦ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。万一故障いたしましたときは、本書をご提示の上、お買い上げの販売店、または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

記

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間とし、本体を対象といたします。なお、修理をご依頼いただいた時点で東邦ガスの都市ガスをご利用いただいている場合、保証期間は、お買い上げ日から9年間となります。
- 保証期間内でありましても、次の場合には有料修理といたします。
 - (1) 取扱説明書等の記載事項によるないでご使用した場合の故障および損傷。
 - (2) 一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷。
 - (3) 指定規格以外のガス、電気、または熱媒等をご使用したこと起因する故障および損傷。
 - (4) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - (5) 火災、凍結、塩害、地震、風水害、落雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流・電圧・周波数・電磁波、犬・猫・ねずみ・鳥・くも・昆虫等の動物の行為、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
 - (6) 器具を調整、改造された場合の故障および損傷。(ただし、当社都合の場合は除く。)
 - (7) 建築躯体の変形等、当製品以外に起因する故障および損傷。
 - (8) 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様範囲内の感覚的な現象の場合。
 - (9) 本書のご提示がない場合。
 - (10) 本書にお買い上げ日、販売店名・住所の記入印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (11) 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
 - (12) 電気のパラバ等起因する故障および損傷。
 - (13) 譲渡、転売、中古品(オークション購入等を含む)の場合。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名・住所			
電話	(	)	

保証履行者 **東邦ガス株式会社** 〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19番18号

保証責任者 **リンナイ株式会社** 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号

お客さまへ

- この保証書をお受け取りになる時に買い上げ日、販売店名・住所が記入印付であることを確認してください。
- 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理などにつきましては取扱説明書をご覧ください。
- この保証書によって、お客さまの法的上の権利を制限するものではありません。
- 無料修理やアフターサービス等については、ご不明の場合はお買い上げの販売店、または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

このガスファンヒーターの設計上の標準使用期間は製造から10年です。標準使用期間を超えて使い続けると、経年劣化によって思わぬ事故に至るおそれがありますので、製造後10年経過したら、あんしん点検を受けるか機器の取り替えをお勧めしています。あんしん点検については「**⑩** 保管とアフターサービス」をご覧ください。

- ・設計上の標準使用期間とは、標準的な使用頻度で適切に使用・維持管理された場合に安全上支障なく使用できる標準的な年数のことで、この年数の算出条件は一般社団法人日本ガス石油機器工業会が定めた自主基準を基にしています(製造年月の確認のしかたは「**⑩** 安全上のご注意(使用ガスおよび使用電源の確認)」に記載しております)。
- ・使い方によっては、設計上の標準使用期間よりも早く劣化することがあります。

1 安全上のご注意 必ずお守りください

- 製品を正しくお使いいただくためや、お客さまや他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠	危険
⚠	警告
⚠	注意

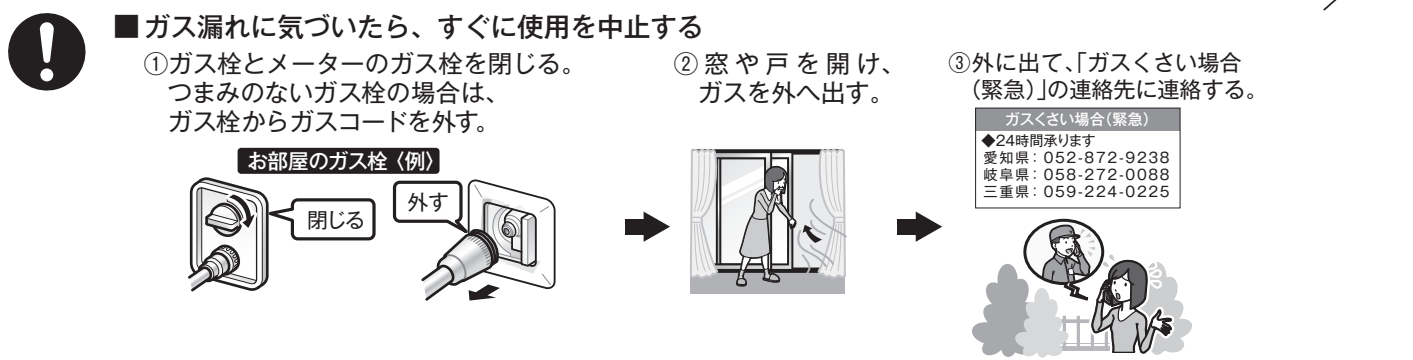
■絵表示について次のような意味があります。



危険

ガス漏れに気づいたときは

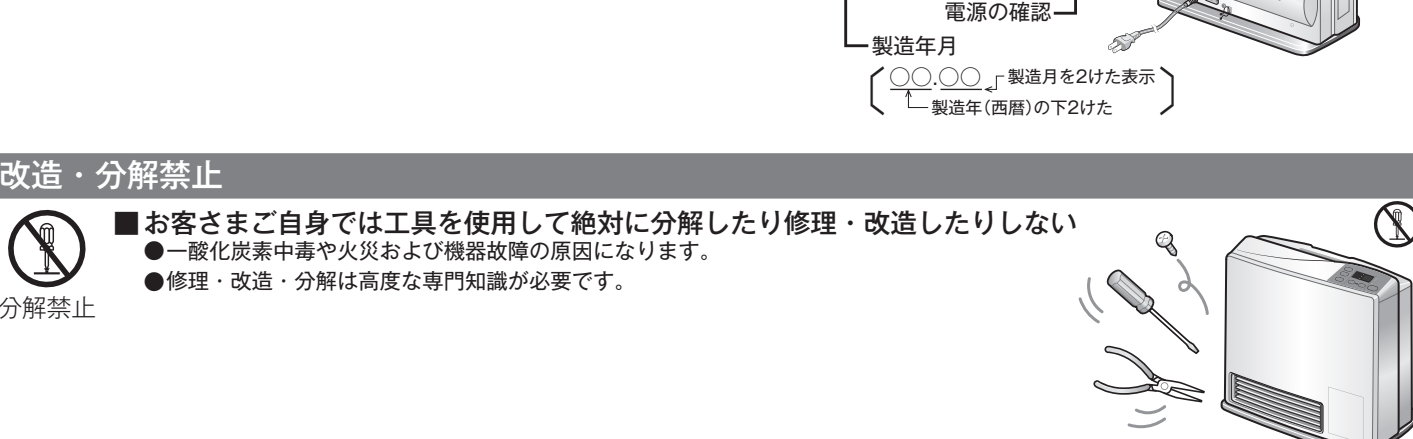
- 絶対に火をつけない
 - 電気器具のスイッチの入/切をしない
 - 電源プラグの抜き差しをしない
 - 周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



警告

使用ガスおよび使用電源の確認

- 機器本体銘板に記載してあるガス種(ガスクラ)および電源(電圧・周波数)以外のガスおよび電源では使用しない
- 記載のガスおよび電源と使用ガスおよび使用電源が一致していない場合、不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、異常な火花や機器故障の原因になりますので使用しないでください。
- 転送された場合も、供給ガスの種類および電源の種類を必ず確認してください。
- わからない場合はお買い上げの販売店、または、もよりのガス会社(供給業者)に連絡してください。



周囲の防火措置

- 家具や壁・棚など可燃性の部分との距離を十分に離す
- 火災や機器過熱によるやけどの原因になります。
- 機器の周囲が濡れていると、正しいお部屋の温度が検知できないことがあります。
- 機器の後方が壁に近いと、安全装置がはたらいで運転が停止することがあります。



ガス接続

- ガスコードは必ず当社指定のものを使用する
- 接続の際にはガスコードおよび機器のガス接続口に傷やごみなどの異物がないことを確認し、確実に接続してください。
- 確実に接続されていないとガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。



以下のガス接続厳禁

- スリムプラグ・機器用ソケット・ゴム管・クチゴム付ガスホースを使用しない
- ガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。
- ガスコードの上に物をのせたり、踏まれるまたは挟まれる状況で使用したりしない
- ガスコードが破損し、ガス漏れが生じ、火災の原因になります。
- ガスコードを縫ぎ足したり、天井などを通したりしない
- 接続部からガス漏れが生じ、火災の原因になります。



温風をじかに当てない

- 低温やけどに注意する
- 温風の直接当たる場所では健康にしないでください。低温風でも連続的に当たると低温やけどの原因になります。(特に高齢児、小さなお子さま、お年寄り、病人など、自分の意思で身体を動かさない方、療養が激しいとき、お酒や睡眠薬を飲まれた方、皮膚や皮膚感覚の弱い方などがお使いのときは、周りの方が注意してください。)
- 温風をじかに長時間、体に当てない
- 体調悪化や健康障害の原因になります。



1 時間に1〜2回換気する

- 必ず換気する。使用中は1時間に1〜2回(1〜2分)程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気
- 換気をしないと、一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。
- 換気は2カ所以上の(風の出入りのある)開口部を設けると効果よくできます。換気扇を使用する場合でも換気扇から離れた位置の窓を開けないと十分な換気ができない場合があります。
- 24時間換気中であっても、換気を行う必要があります。
- 換気できない場所では使用しない
- 窓が凍結する場所や地下室など、換気ができない場所では使用しない。
- 一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

火災予防、スプレー厳禁

- 機器の近くには、燃えやすいものを置かない
- 機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、可燃物(家具、カーテン、洗濯物など)を近づけないでください。火災の原因になります。
- 使用中は外出、就寝しない
- 火災など予期せぬ事故の原因になります。(おはよう/おやすみタイマーの場合は除く。)
- 機器の近くでは、引火のおそれのあるものを使用しない
- スプレー・ガソリン・ペンジンなどを撒いたり、使用したりしないでください。引火して火災のおそれがあります。
- 温風吹き出し口・エアフィルターをふさがない、また紙・布・異物などを入れない
- 異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。
- スプレー缶を機器の前に置かない
- 機器の周辺や上、温風吹き出し口の前方でスプレー缶(殺虫剤・ヘアスプレー・カセットコンロ用ボンベなど)を使用したり、置いたりしないでください。
- 熱で缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

電源コード・プラグについて

- いんだん電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない
- 感電・発熱による火災の原因になります。
- 電源プラグを抜いて停止しない
- 機器の過熱の原因になります。
- 電源コードを持って引き抜かない
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、感電・ショート・火災や機器故障の原因になります。
- 絶対に延長しない
- 機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内としてください。感電や火災などの原因になります。
- 無理な力を加えたり、重いものをのせたりしない、また、たばねたまま使用しない
- 感電や火災などの原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流(AC)100V以外で使わない
- たと足配線などで指定された定格を超えること、発熱による火災の原因になります。
- ぬれた手で抜き差ししない
- 感電やけがの原因になります。
- 電源プラグのほりこりなどは定期的にとる
- プラグを抜き、乾いた布で必ず定期的に、電源プラグにほりこりがたまること、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグは根元までしっかりコンセントに差し込む
- 差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

異常時の処置

- 異常時は使用を中止して、ガス栓を閉じる
- ①点火しない場合や使用中に異常な燃焼、異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、または使用中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉じる。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください)
- ②異常を感じたときは「**⑩**」故障かな?と思ったら、「**⑪**」プザーが鳴って、運転が停止した場合」に扱う。
- ③上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または、上記、「ガスさい場合(緊急)」の連絡先に連絡してください。
- 地震、火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓とメーターのガス栓を閉じる
- (つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)

注意

火災予防

- 暖房以外の用途(衣類の乾燥など)には使用しない
- 衣類・毛布・シーツなどを機器の上に置いたり、掛けたりしないでください。火災や思わぬ事故の原因になります。また、機器の変形や故障の原因にもなります。
- 運搬したまま持ち運びしない
- ガスコードが破れて異常燃焼の原因になったり、ガスコードの接続が不完全になり、ガス漏れの原因になります。また、やけどなどの原因にもなります。
- 火をついたタバコ・線香などを近づけない
- 引火して火災の原因になるおそれがあります。
- 標の下など、落下物のおそれのあるところでは使用しない
- 落下物によっては、火災のおそれや機器故障の原因になります。

設置場所

- 段差のある床面に設置しない
- 温風の当たる部分が変色したり、ヒビ割れしたりすることがあります。
- 電気カーペット・温水マットの上には設置しない
- 機器の重みで電気カーペット・温水マットが故障することがあります。
- 電気カーペット・温水マットの熱で機器が正しい制御をしないことがあります。
- 温風吹き出し口の前にギャラリ(格子)を取り付けない
- 温度調節が正しく行われず、火災の原因になります。
- ドアの近くに置かない
- 機器の転倒や、やけどなどのおそれがあります。
- 特殊な場所に設置しない
- 乾燥室・温室、動植物の前室など、特殊な場所では絶対に使用しないでください。植物が枯れたり、動物が死亡したりするおそれがあります。
- スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼりの多い場所(理・美容院や、メッキ・塗装工場など)では使用しない
- フロンガスや化学薬品蒸気は、腐食性ガスの発生により金属がさびたり、刺激臭や臭気が生じたりする原因になります。また、健康を害したり、機器故障の原因にもなります。
- 機械油や天ぷら油など油成分が浮遊している場所に置かない
- 機器の樹脂部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。
- 高温や多湿になる場所に置かない、保管しない
- 機器の金属部がさびたり、樹脂部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。また、機器故障の原因になります。
- 水のかかる場所に設置しない
- 水など滴下し、多湿の場所や水のたまる場所には設置しないでください。腐食して感電、火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 機器の上に花びんや金魚鉢などを置かない
- 漏れて感電、火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 水平なところに設置する
- 機器が傾くと、転倒・運転が停止したり、温風の方向が変わり、温風の当たる部分に変色したり、ヒビ割れたりすることがあります。
- 毛足の長いじゅうたんやクッションフロアの上に置く場合は、機器の重みで沈んでも、じゅうたんの毛やクッションフロアに直接温風が当たらないように、機器の下に板などを敷いて使用する
- じゅうたんやクッションフロアの上にじかに置くと、温風の熱で変色することがあります。また、機器の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

廃棄時の注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する
- お客さまご自分で処理する場合、乾電池を使用している機器は、必ず乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。

ご使用について

- 機器の上に腰かけたり、のったりしない
- けがや、やけどの原因になります。
- 機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼など機器故障のおそれがあります。
- くんじょうタイプ(発煙型)の殺虫剤、防虫剤を使う場合は運転しない
- 機器内部に薬液成分が蓄積し、その後温風吹き出しから放出されて、健康に良くないことがあります。
- 殺虫剤、防虫剤を機器にかけない
- 機器の樹脂部が変色したり、ヒビ割れたりすることがあります。
- 温風吹き出し口の前や周囲にものを置いたり、機器背面(エアフィルター部)をふさいだりしない
- 機器が過熱し、やけどや機器故障の原因になります。
- 床やじゅうたんのた変色やヒビ割れ、プラスチック製品の場合は変形・変色のおそれがあります。
- エアフィルターを外して運転しない
- 機器内部へのはこり詰まりによる機器故障の原因になります。
- 温風吹き出し口に指や鉛筆などを入れない
- 対流ファンが回転しているため、けがや、やけどや機器故障の原因になります。特に小さなお子さまがいるご家庭ではご注意ください。
- 回転物注意

- 使用中および使用直後は、操作部、取っ手以外の手を触れない
- 操作部、取っ手以外には高温になっていますので、手を触れるとやけどのおそれがあります。特に温風吹き出し付近、エアフィルター部分の高温部には触れないでください。
- 停電したときや、誤って電源プラグを抜いたときは、機器背面(エアフィルター部や取っ手部分)に手を触れない
- 高温になっていますので、手を触れるとやけどのおそれがあります。
- 小さなお子さまが遊んだり、いたずらしたりしないように注意する
- 思わぬ事故につながるおそれがあります。

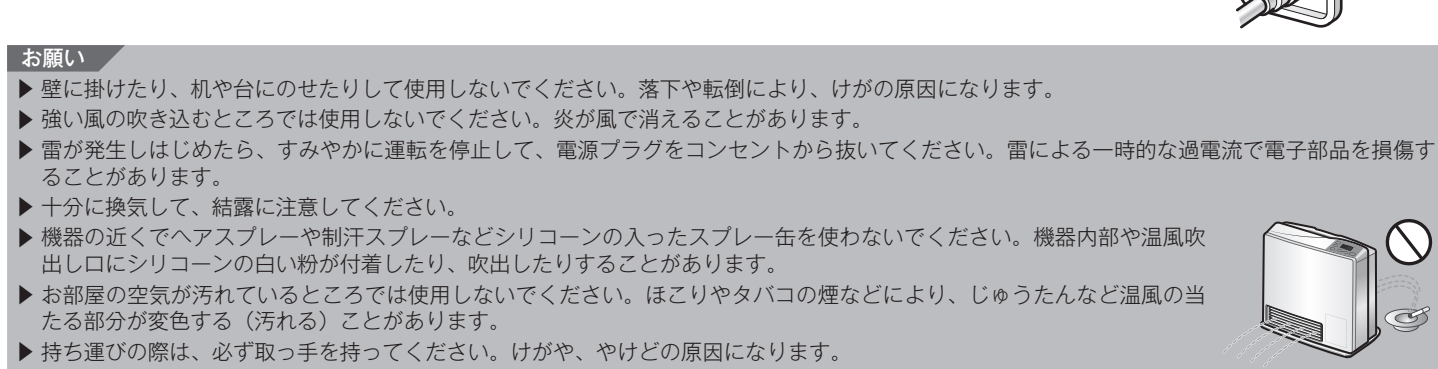
電源コード・プラグについて

- 点検やお手入れの際は、必ず電源プラグを抜く
- 感電やけがをすることがあります。

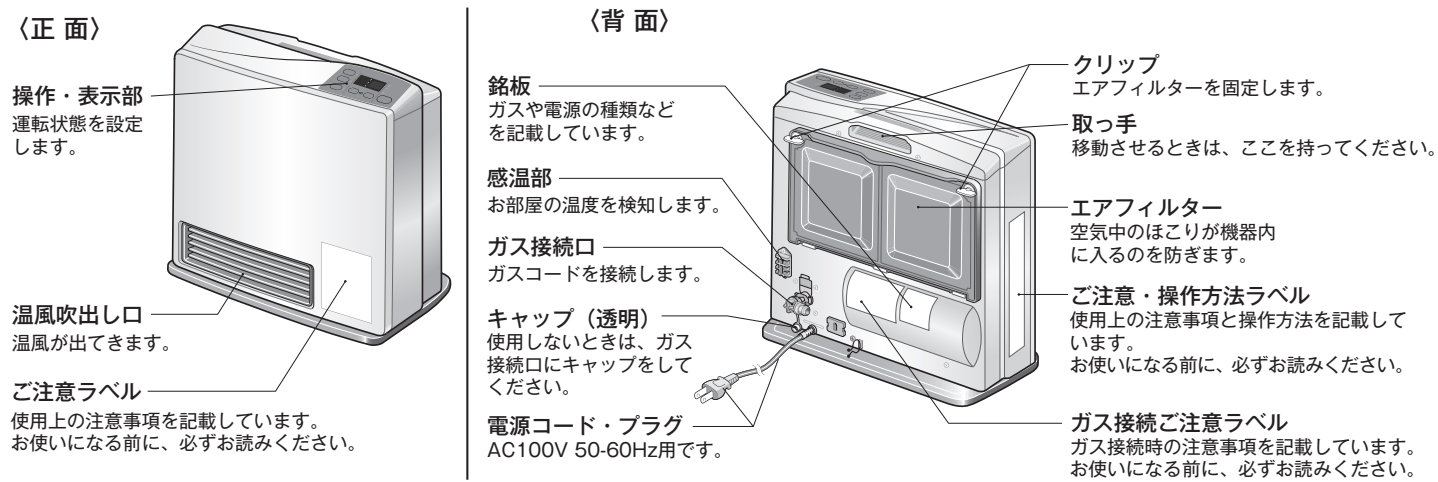


ガス事故防止

- ガス栓を閉じる
- 外出や、長時間使用しないときは、ガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点火・消火の確認をする
- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。



2 各部のなまえとはたらき

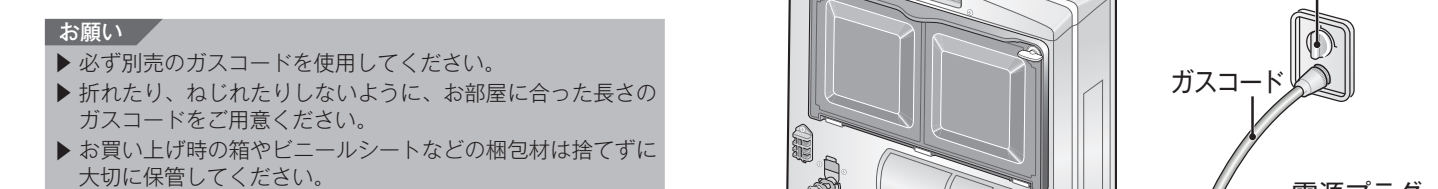


3 お使いになる前に (機器の接続)

機器の接続

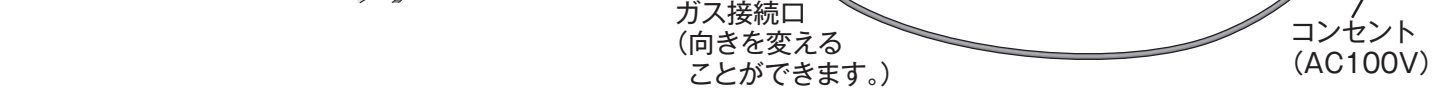
■用意するもの

- ガスコード(別売)



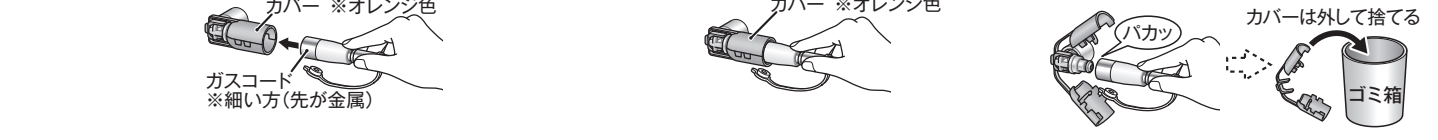
1.電源を接続する

電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。



2.カバーの取り外しした

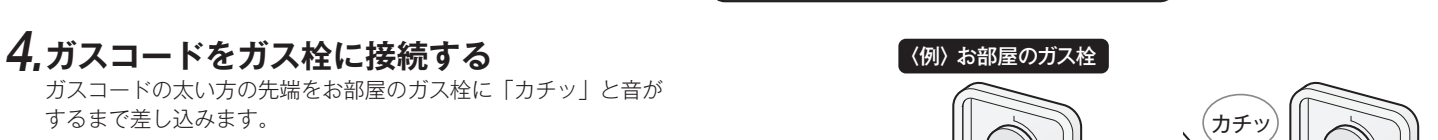
- このカバーは、ガスコードによる正しい接続を確認するためのものです。
- カバーが開かない場合は、開通ったガスホースです。必ず当社指定のガスコード(別売)を使用してください。
- ①ガスコードのキャップを外して、カバーに差し込む
- ②そのまま、ガスコードを奥まで押し込む
- ③カバーが開くので、金具から取り外す



3.ガスコードを機器に接続する

ガスコードの細い方の先端をガス接続口に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

- ▶ガスコードや機器のガス接続口に、ごみなどの異物がないことを確認してから接続してください。
- ▶ガス接続口についているキャップ(透明)は、なくさないように大切に保管してください。機器を輸送・保管するときに、ごみの混入を防ぐために使います。



5.ガス栓を全開にする

お部屋のガス栓を全開にします。



- 注意**
- カバーについて
- カバーを手などで強引に外したり、壊したりしないでください。けがをするおそれがあります。
- また、機器が故障して、ガス漏れの原因になります。
- 外したカバーは再使用しないでください。必ず捨ててください。(カバーが破損し、ガス漏れの原因になります。)
- 電源コードについて
- 温風吹き出し口の前や機器の下を過ぎないでください。
- ガスコードについて
- ヒビ割れたりして古くなったガスコードは、必ず取り替えてください。
- 温度の高いところにガスコードが触れたり、上にものをせたりしないでください。
- ガス接続口はていねいに清潔に保ち取り扱ってください。
- ガス接続口に傷がついたり、異物が付着したりすると、ガス漏れの原因となります。使用しないときは、ガス接続口にキャップ(透明)をつけておいてください。

